



令和元年度

高島市医師会 在宅療養支援センター事業報告

高島市医師会 在宅療養支援センター

在宅医療・介護連携推進事業の8つの枠組み

(ア)	地域の医療・介護の資源の把握（市主体）
(イ)	在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策への検討（市主体）
(ウ)	切れ目のない在宅医療と介護の連携体制の構築推進
(エ)	医療・介護関係者の情報共有の支援
(オ)	在宅医療・介護連携に関する相談支援
(カ)	医療・介護関係者研修
(キ)	地域住民への普及啓発
(ク)	在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携（市主体）



在宅医療・介護連携推進事業の業務受託の経過

平成30年度

在宅医療・介護連携推進事業8つのタスクのうち

(ウ) (エ) (オ) を
医師会で主体的に実施

令和元年度

在宅医療・介護連携推進事業の8つのタスクのうち

(ウ) (エ) (オ) (カ)
および (キ) の
一部を医師会で主体的に実施

令和2年度

在宅医療・介護連携推進事業の8つのタスクのうち

(ア) (ウ) (エ)
(オ) (カ) (キ) を
医師会で主体的に実施



(ウ) -① 職種内の連携推進

事業	日時・場所	参加者数	内容
小規模通所サービス部会	令和元年7月11日(木) おうみの里マキノデイ サービスセンター	6名	・前回の話し合い結果をもとに意見交換
入所サービス部会	令和元年7月30日(火) ふじの里	6名	・施設見取りの取り組みを中心に現状や課題などについて意見交換
通所サービス部会	令和元年10月8日(火) 新旭やすらぎ荘	8名	・各事業所の困りごとについての情報交換、職員のスキルアップのための研修会の取り組みについて
訪問介護・訪問入浴サービス部会	令和元年10月24日(木) 新旭やすらぎ荘	7名	・スタッフのスキルアップのための取り組みや他職種との連携について
医師会 在宅看取りの協力体制について考える会(第1回)	令和元年8月8日(木) ウエストレイクホテル	10名	・在宅医療に取り組む中での困りごと ・他職種との連携上での困りごとについて
医師会 在宅看取りの協力体制について考える会(第2回)	令和元年12月10日(火) 新旭公民館	10名	・医師間での協力体制について

(ウ) -② 職種間の連携推進

事業	日時・場所	参加者数	内容
ケアマネ・薬剤師 合同研修会 (2次連携)	10月17日(木) 安曇川公民館	28名 (ケアマネ 14名、 薬剤師 10名、 その他 4名)	○事前アンケート結果報告 ○両職種より連携事例の報告 ○グループディスカッション
3師会合同研修会 (医師会・歯科医師 会・	11月13日(水) 今津サンブリッジホテル	44名 (医師 14名、 歯科医師 12名、 薬剤師 16名 他	○糖尿病をテーマに、医師、歯科医 師、薬剤師から講演および交流会
高島の在宅医療を 考える会	6月12日(水) 今津病院	63名	○市内3病院よりレスパイト入院の 利用状況、課題についての話題提 供 ○多職種でのグループワーク
高島市医療連携ネッ トワーク運営協議会 (多職種連携)	月1回 今津老人福祉セン ター	30～40名	○各構成団体等からの話題提供 ○グループディスカッション



ケアマネ・薬剤師合同研修会

昨年度から両職種間で開催に向けて企画し、開催しました！

【日時】令和元年10月17日（木）19時～20時30分

【場所】安曇川公民館

【内容】

- ・連携に関する事前アンケート結果報告
- ・連携事例の報告（薬剤師・ケアマネより）
- ・グループワーク

薬局の窓口で気になる患者さんもあるが…
誰に連絡したらいいのか…。



薬剤師への相談は、医師以外ではケアマネさんからが最も多くしてもらっています・・・。



三師会合同研修会

今年度は初めて医師会・歯科医師会・薬剤師会が合同研修会を開催！

【日時】令和元年11月13日（水）

19時30分～20時30分

【場所】今津サブ リゾート ホテル

【内容】学術講演会

～高島市の糖尿病治療連携に関して～

演者 医師会 佐々木靖之先生

歯科医師会 野上昌義先生

薬剤師会 保井洋平先生

【参加者】 44名

（医師14名、歯科医師12名、薬剤師16名）

終了後は和やかに懇親会が催されました。



高島の在宅医療を考える会

- 【テーマ】 「病院・地域みんなで支えよう地域医療」
～レスパイト入院の役割について考える～
- 【日時】 令和元年6月12日（水）14時～15時30分
- 【場所】 今津病院 大会議室
- 【内容】 在宅医療を支える『レスパイト入院』について考える
○3病院よりレスパイト入院の現状と課題について報告
○グループワーク
- 【参加者数】 63名
- 【職種】 医師4名 病院看護師11名 地域連携室11名
歯科医師1名 薬剤師2名 リハ職2名
介護支援専門員13名 訪問看護ステーション5名
障がい者支援センター2名 その他行政関係者など



高島市医療連携ネットワーク運営協議会

回	開催日	場所	内容	参加者
92回	4月10日（水）	今津老人福祉センター	話題提供：「薬剤師の仕事紹介」 薬剤師会	41名
93回	5月 8日（水）	今津老人福祉センター	話題提供：高島市リハビリ連携協議会	38名
94回	6月12日（水）	今津病院	「高島の在宅医療を考える会」と合同開催	63名
95回	7月10日（水）	今津老人福祉センター	話題提供：「消防の救急業務」 高島市消防本部	41名
96回	9月11日（水）	今津老人福祉センター	話題提供：「大津および湖西医療圏域における連携の現状と課題」 大津赤十字病院	39名
97回	10月 9日（水）	今津老人福祉センター	話題提供：「高島市在宅医療体制の現状」 高島市医師会	31名
98回	11月13日（水）	今津老人福祉センター	話題提供：「高島保健所のアルコール問題への取り組み」 高島保健所	29名
99回	12月 8日（日）	安曇川公民館	「高島まるごと元気まつり」と合同開催	198名
100回	1月18日（土）	今津サブ リッツ ホテル	100回記念講演「『三方よし研究会』の12年の歩みを振り返る」 講師 小串輝男 先生	43名
101回	2月15日（土）	安曇川公民館	「在宅医療多職種連携セミナー」と合同開催	71名
102回	3月11日（水）		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	

職種内・職種間連携の課題整理 （地域リーダー連絡会議にて）

研修会

- ・ 各団体との共催研修の推進
- ・ 事業所や施設に出向いての開催
- ・ 参加しやすい時間帯の設定など

職種内・職種間の連携

- ・ 同職種でも所属の違いで話す機会少ない、さらに1次連携が必要なのは
- ・ 事業所間、多職種間の柔軟な連携が必要

利用者支援のための情報共有手段

- ・ 健康診断書の取り扱いに一定のルールを
- ・ 事業所間でのタイムリーな情報共有が必要
- ・ サービス担当者会議や介護連絡帳の活用を
- ・ あさがおネットの利活用の課題整理

(エ) びわ湖あさがおネットの活用推進

利用者アンケート実施 (2019年9月)

【対象者】 びわ湖あさがおネットの登録者 308名

【回答者】 202名 【回収率】 : 65.6%

アンケートにご協力いただいた多職種の皆様、
ご協力ありがとうございました

◆ あさがおネットを利用している人は全体で92名 (45.5%)

職種別では ○介護支援専門員 (81%) ○地域医師・歯科医師 (56%)
 ○リハ職 (44%) ○訪問看護ステーション (56%)
 ○3病院 (34.2%) など職種によるばらつきがある。

◆ あさがおネットを利用していない理由

- ・使えるPCが限られているため
- ・活用の方法がわからない
- ・登録方法がわからない等…



- ・新規ID取得希望者の研修の継続
- ・少人数や個別での相談支援の実施

びわ湖あさがおネット研修会

1) ID取得研修会

日 時： 令和元年5月29日（水）14時～15時30分

内 容： 「びわ湖あさがおネットの概要および活用の実際」
「びわ湖あさがおネットの利用登録に関する手続き等」

参加者： 21名



2) 実務者研修会

日 時： 令和元年12月11日（水）14時～15時30分

内 容： 「びわ湖あさがおネット(ICT)による地域医療連携の進め方」
「びわ湖あさがおネットの基本操作」

参加者： 18名

場 所： いずれも安曇川公民館

講 師： びわ湖あさがおネットインストラクター

高島市医師会 本多朋仁先生

高島市民病院 渡邊温土 氏



(才) 在宅医療・介護連携に関する相談支援窓口の設置

○相談窓口の利用件数 (H31.4月～R2年1月まで) 22件

相談内容および相談者

- ・在宅医療出前講座の依頼(7件)…市民、社協の地域担当者から
- ・訪問歯科診療について (6件)…ケアマネ、施設、医師から
- ・多職種への情報発信の方法について(3件)…市内外の関係機関から
- ・あさがおネットの活用について(2件)…ケアマネ、事業所から
- ・救急搬送に関する連携について…消防本部から
- ・看護職対象のアンケート実施の協力依頼 …看護協会から
- ・在宅療養支援センターや多職種についての問い合わせ …市外関係機関から 等

○ホームページの更新

研修会のお知らせや医療介護連携推進事業の報告など掲載、各団体からの依頼に応じて記事を掲載

○市役所地域包括支援センターとの連携

毎月1回 連絡会議を実施、



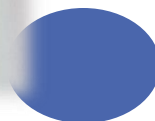
(力) 医療・介護関係者研修会

日時	研修名	内容	講師	参加者
9月26日 13:30～ 15:00	医療に関する勉強会 ① 「脳卒中の病態と治療」 会場：高島公民館	今年度は脳卒中をテーマとして開催。 脳梗塞を中心に病態や治療、予防について の講義のあと、参加者でグループワークで 学習内容を深めたり情報交換を実施。	高島市民病院 市川正春先生	33名
10月31日 13:30～ 15:00	医療に関する勉強会 ② 「脳卒中と薬」 「脳卒中後の食事のポイント」 会場：新旭公民館	脳卒中の治療に関する薬の基礎知識や 脳卒中の予防のための食事、栄養について 講義。 後半はグループで情報交換を実施。	ふれあい薬局 薬剤師 田中 聡美氏 マキノ病院 管理栄養士 田中 ゆりこ氏	29名
11月28日 13:30～ 15:00	医療に関する勉強会 ③ 「脳卒中のリハビリテーション ～生活期に必要な視点～」 会場：新旭公民館	脳卒中のリハビリについて、主に生活期 のリハビリテーションについて、Q & A 方式でリハビリの視点を解説。 後半は、各施設での取り組みや困りごと など意見交換を実施。	高島市民病院 理学療法士 木下正太氏 作業療法士 橋本一希氏	25名
2月15日 14:00～ 16:30	在宅医療多職種連携セミナー 「最期までその人らしく生き抜くために」 会場：ふじのきホール	アドバンス・ケア・プランニングの基礎知識を学ぶと ともに本人の意思決定を支援するとはどう いうことか、についてグループワークを通して 体験。	滋賀県立総合病院 犬塚 康孝先生	71名

医療に関する勉強会

○参加者の声（当日アンケートから～）

- ・ 血圧チェックが大事だと改めて感じた。
- ・ “昨日と違う” 利用者おられたら、すぐに看護師、医師につなげようと思った。
- ・ 再発予防のための薬の重要性がよくわかった。
- ・ 塩分量が参考になった。
- ・ ポジショニングの工夫を利用者さんに考えてしていきたい。
- ・ 体操など、他の施設でされていることを参考にしようと思う。
- ・ 薬のことで困ったら、かかりつけ薬局に相談したい。



在宅医療多職種連携セミナー

○参加者の声（当日アンケートから～）

- ACPの基礎について具体的に理解できた。
- 情報共有、患者の意思を推定することの大切さが分かった。
- 看取りに対しては、スタッフの理解が大事なことだと思った。
- グループワークでは、多職種、多施設の方と活発に話ができて、よい意見交換ができた。
- カンファレンスやサービス担当者会議の重要性を今一度感じた。
- ワークシートを埋めながらACPの理解を深めることができた。
- 時間が足りなかった。
- 今回のテーマを継続的にしてほしい・・・等



(キ) 地域住民への啓発

◇在宅医療出前講座

高島市の在宅医療の状況や看取りについて、フレイル予防をテーマに、医師の講話、座談会、フレイルチェック等を行いました。

開催日	開催場所	参加人数
6月23日(日)	藁園ふれあい会館	63名
10月13日(日)	今在家区事務所	27名
10月27日(日)	日爪区「もりごや」	18名
11月17日(日)	安曇川公民館	6名
11月17日(日)	寺久保生活改善センター	26名
2月24日(月)	三谷区公民館	24名



高島まるごと元気まつり（在宅療養講演会）

【開催日】 令和元年12月8日（日）午後1時～4時30分

【会 場】 安曇川公民館

【内 容】

○ 創作落語（講演会）「笑いは心のくすり」

出演 井筒家 磯七 氏（薬剤師）

○ 一緒に歌おう「うたごえ浜かぜ」と♪

○ 体験コーナー&スタンプラリー

【来場者数】 198名

参加団体： 高島市医師会、高島市歯科医師会、
高島市薬剤師会、滋賀県歯科衛生士会、高島市
リハビリ連携協議会、たかしま福祉用具の会、
高島保健所、看護協会第7地区支部、滋賀県栄
養士会



令和2年度の取り組みの方向性

在宅介護と医療の切れ目ない連携体制構築

- ・ 1次連携、2次連携の聞き取りから医療介護連携の強化が必要な取り組みを検討し、主体的な活動につなげる。
- ・ 職種内の情報共有や連携のあり方、1次連携体制の構築を目指した聞き取り、意見交換の実施
- ・ 介護施設等を利用した研修会の開催を通してより職種間連携のきっかけづくりとする。

地域との連携の強化

- ・ 医療・介護関係者が地域住民主体の集まりに参加し、目指す姿や地域づくりについて話し合う。
- ・ 生活支援コーディネーター、認知症地域支援推進員等との情報共有をしながら、地域づくりへの取り組みについて考える。